



明田地下道と手形陸橋だけでは駅東西の連絡が不十分

秋田駅の東西を地下で結ぶ自動車専用道路として計画されている「秋田中央道路」。多大な事業費を要する一大事業となるだけに、市民のみならず、大きな関心が寄せられています。

今回は秋田中央道路について、改めてその概要をお知らせします。

# 秋田中央道路

## 秋田駅東西の連絡。それが秋田市の大きな課題です。

秋田中央道路は、秋田駅東側の手形字中谷地から、千秋公園のお堀の下を通り、旭北錦町まで至る全長約二・四キロの地下自動車専用道路です。

広小路側と中央通り側に分かれる二本のトンネルが計画されていますが、事業費が膨らむため、広小路側一車線の対面通行で暫定整備することになりました。

**総事業費は730億円**

総事業費は七百三十億円。その内訳を現時点で計算すると、国が二百八十一億円、県が四百五億円、市が四十四億円ですが、県・市の負担分には国から交付税が措置されるので、実質の負担は、県が百

三十八億円、市が三十一億円となります。完成は平成十九年度をめざしています。

**どうして必要なの？**

高速道路を有効に活用するためには、高速道路から市中心部へつながる便利な道路がなくてはなりません。秋田市の場合、高速道路から中心市街地へ入る道路が秋田駅東側で大きくう回しており、駅西側や日本海側へ短時間で行走る道路が必要となっています。

また、鉄道と旭川を横断する東西の道路が不足し、都心の道路が著しく混雑していることから、この渋滞を緩和するために秋田中央道路が必要で

### 秋田中央道路と駅東西の道路整備

